

第 29 期 第 1 四半期報告書

(平成 16 年 4 月 1 日から平成 16 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号)	株式会社 富士テクノサービス
英文名(英文商号)	Fuji Techno Service Co.Inc.
コード番号	2336
代表者の役職氏名	代表取締役社長 高井 男
本店の所在の場所	神奈川県厚木市愛甲 980-1
電話番号	046-250-1666
連絡者	取締役副社長 原田 久仁子

四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 29 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 6 月 30 日	自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 6 月 30 日	自平成 15 年 4 月 1 日 至平成 15 年 6 月 30 日
(経 常 損 益 の 部)				
営 業 損 益 の 部				
営 業 収 益		475,289	475,289	359,111
売 上 高		277,433	277,433	224,814
営 業 費 用		217,566	217,566	177,551
売 上 原 価				
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		19,710	19,710	43,253
営 業 損 失		720	720	477
営 業 外 損 益 の 部				
営 業 外 収 益		3,587	3,587	2,309
営 業 外 費 用		22,577	22,577	45,086
経 常 損 失		22,577	22,577	45,086
税引前四半期(当期)純損失		32	32	-
法人税、住民税及び事業税		22,609	22,609	45,086
四半期(当期)純損失		89,432	89,432	573
前期繰越利益又は損失()		112,042	112,042	44,512
四半期(当期)未処理損失				

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 29 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 6 月 30 日	自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 6 月 30 日	自平成 15 年 4 月 1 日 至平成 15 年 6 月 30 日
期 中 平 均 株 式 数		4,355 株	4,355 株	4,355 株
1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 損 失		5,191 円 62 銭	5,191 円 62 銭	10,352 円 70 銭

注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益は、最終損益が損失となるため、記載を省略しております。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	第 29 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 6 月 30 日	自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 6 月 30 日	自平成 15 年 4 月 1 日 至平成 15 年 6 月 30 日
技術者派遣事業売上高		324,485	324,485	245,398
デジタルエンジニアリング事業売上高		135,189	135,189	112,480
ソリューション事業売上高		15,614	15,614	1,232
合 計		475,289	475,289	359,111

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第 28 期末	第 29 期 第 1 四半期
	(平成 16 年 3 月 31 日現在)	(平成 16 年 6 月 30 日現在)
(資産の部)		
流動資産		
1. 現金及び預金	274,771	203,033
2. 受取手形	2,257	2,394
3. 売掛金	316,520	296,639
4. 商品	32,821	30,251
5. 仕掛金	39,736	42,587
6. 前払費用	12,747	15,860
7. 短期貸付金	2,300	2,120
8. 繰延税金資産	471	471
9. その他流動資産	4,649	16,338
流動資産合計	686,275	609,695
固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物附属設備	8,357	7,964
(2) 車輛運搬具	2,669	2,378
(3) 器具備品	32,305	30,674
有形固定資産合計	43,332	41,017
2. 無形固定資産	6,523	6,203
3. 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券	34,275	41,170
(2) 保険積立金	2,006	2,297
(3) 差入敷金保証金	30,772	32,600
(4) 子会社株式	10,000	10,000
(5) 会員権	2,250	2,250
(6) 長期前払費用	12,271	13,878
(7) その他投資等	20	20
投資その他の資産合計	91,596	102,217
固定資産合計	141,451	149,439
資 産 合 計	827,727	759,134

(単位:千円)

科 目	期 別	
	第 28 期末 (平成 16 年 3 月 31 日現在)	第 29 期 第 1 四半期 (平成 16 年 6 月 30 日現在)
(負債の部)		
流動負債		
1. 買掛金	90,115	50,527
2. 短期借入金	2,400	22,400
3. 1年以内返済予定の長期借入金	183,821	183,821
4. 未払金	142,386	142,318
5. 未払費用	31,600	33,161
6. 未払法人税等	2,042	-
7. 未払消費税等	22,027	-
8. 前受金	2,624	6,571
9. 預り金	444	3,595
10. その他流動負債	778	39,585
流動負債合計	478,240	481,981
固定負債		
1. 長期借入金	310,699	261,435
2. 退職給付引当金	24,000	23,540
固定負債合計	334,699	284,975
負債合計	812,939	766,956
(資本の部)		
資本金	63,425	63,425
資本剰余金		
1. 資本準備金	40,425	40,425
資本剰余金合計	40,425	40,425
利益剰余金		
1. 利益準備金	1,021	1,021
2. 四半期(当期)未処理損失	89,432	112,042
利益剰余金合計	88,411	111,020
株式等評価差額金		
1. 投資有価証券評価差額	650	650
資本合計	14,788	7,821
負債・資本合計	827,727	759,134

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	
	第 28 期末 (平成 16 年 3 月 31 日現在)	第 29 期 第 1 四半期 (平成 16 年 6 月 30 日現在)
発行済株式総数	4,355 株	4,355 株
1 株当たり純資産額	3,395 円 68 銭	1,795 円 94 銭

(4) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5経理の状況 重要な会計方針」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準
法人税、住民税及び事業税は、既支払額を計上しております。
3. 消費税等の会計処理
消費税等は仮払消費税等を流動資産に、仮受消費税等を流動負債に含めて表示しております。

なお、当該四半期の貸借対照表及び損益計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(5) 会計方針の変更

該当事項はありません。

第29期 第1四半期（平成16年4月1日から平成16年6月30日）の業績の概況

当四半期における我が国経済は、株式市況の持ち直しや企業収益の改善基調を背景に株価が次第に回復するとともに、輸出や設備投資などの増勢を牽引役として、緩やかながら持ち直しの動きが明確になり、個人消費にもようやく改善の兆しが見られるなど、明るい材料が増えてきました。

こうした状況下において、当社は「モノづくり支援のトータルソリューション」をキーワードに、製造業に対しての技術支援を3つの事業分野に分け提供しております。

分野別にみますと、技術者派遣事業は自動車、家電、精密機器等好調業種への派遣増加もあり、売上高は324,485千円（前年同期比132.2%）となりました。

デジタルエンジニアリング事業についても好調な受注により売上高は135,189千円（前年同期比120.2%）となりました。

ソリューション事業はCADシステム等販売において15,614千円（前年同期比1,267.4%）となりました。

この結果、当四半期につきましては、売上高475,289千円（前年同期比132.4%）と増加傾向にありましたが、利益面につきましては、売上原価の増加および営業経費増加に伴い、営業損失19,710千円（前年同期：23,543千円改善）、経常損失22,577千円（前年同期：22,509千円改善）、四半期純損失22,609千円（前年同期：22,477千円改善）となりました。

第29期通期の売上高及び利益の予測について

第29期通期の売上高および利益の予測につきましては、前回の発表からの変更はありません。

（単位：千円）

科 目	期 別	第28期 (実績)	第29期 (予測)
		自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
売 上 高		1,693,873	2,616,000
経 常 利 益		65,644	62,000
当 期 純 利 益		90,006	60,000
1株当たり当期純利益		20,667円36銭	13,777円26銭

（注）第28期実績における「1株当たり当期純利益」は期中平均株式数により計算しております。また、第29期（予測）における「1株当たり当期純利益」は第1四半期末の発行済株式数を基に計算し

ております。

資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 29 期 第 1 四半期
		自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 6 月 30 日
現金及び預金の増減額		71,738
現金及び預金の期首残高		274,771
現金及び預金の四半期末残高		203,033

(主な増減理由) 第 1 四半期の主な増減は以下の通りです。

当四半期純損失	22,609	千円
減価償却費	4,863	
売掛金の減少	19,881	
投資有価証券の増加	6,895	
差入敷金保証金の増加	1,828	
短期借入金の増加	20,000	
長期借入金の減少	49,264	
買掛金の減少	39,588	
その他	3,702	
計	71,738	千円

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 29 期 第 1 四半期
		自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 6 月 30 日
短期借入金の増減額		20,000
短期借入金の期首残高		2,400
短期借入金の四半期末残高		22,400

(主な増減理由)

第一四半期 借入 20,000 千円

(3) 長期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 29 期 第 1 四半期
		自平成 15 年 4 月 1 日 至平成 15 年 6 月 30 日
長期借入金の増減額		49,264
長期借入金の期首残高		494,520
長期借入金の四半期末残高		445,256

(注)長期借入金は 1 年以内返済予定の長期借入金を含んでおります。

(主な増減理由)

第一四半期 返済 49,264 千円

その他

該当事項はありません。